

令和5年12月6日発行

# 草津未来研究所 News Letter

第9回  
自治体シンクタンク  
研究交流会議



第9回自治体シンクタンク研究交流会議に参加しました！

11月10日および11日に第9回自治体シンクタンク研究交流会議が愛媛県西条市役所にて開催されました。この交流会議は自治体シンクタンクがある自治体が持ち回りで開催しており、全国から自治体シンクタンク関係者が集まり、自治体内のシンクタンク機能のあり方や共通課題の改善策などを議論し、新たな気づきと全国のネットワーク構築を目的に開催しています。

1 日目は「産学公民連携によるローカルSDGs推進について」をテーマに、法政大学デザイン工学部建築学科の川久保俊教授による基調講演をいただいた後、関東学院大学法学部地域創生学科の牧瀬稔教授をファ

シリテーターにワークショップを行いました。終了後、政策研究のあり方や、内部組織との関係において日ごろの取り組み等について議論を交わす交流会がおこなわれ、参加者間の交流がさらに深まりました。

## 基礎講演

「産官学民連携によるローカルSDGs推進について」  
ワークショップ

- ①「SDGsの推進と自治体シンクタンクの役割」
- ②「EBPMの推進と自治体シンクタンクの役割」



2 日目は「EBPMの推進と自治体シンクタンクの役割」をテーマにワークショップを行い、研究所運営の課題や悩みを出し合いながら議論が交わされ次なる励みとなりました。

「自治体シンクタンク」ってなに？

自治体が設置したシンクタンク(政策研究機関)のことです。

自治体シンクタンクの定義は様々ありますが、『都市とガバナンス vol.27』(2017)では「地方自治体の政策創出において徹底的な調査・研究を行い、当該問題を解決するための提言を行うために組織された機関(団体)」と定義されています。

草津未来研究所は草津市のシンクタンクとして本市の政策課題に即しながら、課題解決や政策立案等の政策形成に結びつく調査研究活動を行っています。

